

理論計算機科学は、情報分野全体のなかで古くから盛んに研究がなされてきた分野ですが、近年は実用性を重視した研究も増えてきています。情報通信機器の発達に伴って発生してきた高度で複雑な諸問題を解く鍵として、理論計算機科学の重要性が再認識されつつあります。本小特集は、2003年まで発行されて参りましたLAシンポジウム小特集の後継にあたり、理論計算機科学の最新研究の発表の場として、読者の方、研究者の方より御好評を頂くうち18回目を迎えるものです。当該分野の研究活動を促進のため、今年度は「アルゴリズムと計算理論の新潮流」をサブテーマとして本小特集（2021年3月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

・計算の理論とモデル

チューリング機械、帰納的関数、書換え系、並列・分散計算、量子計算、分子計算等

・オートマトンと形式言語理論

様々な文法モデル、セルオートマトン、言語・記号処理への応用、符号理論、計算学習理論等

・アルゴリズムとデータ構造

グラフアルゴリズム、組合せ最適化、計算幾何、確率・近似・並列・分散等の各種アルゴリズム

・計算の複雑さの理論

アルゴリズムの計算量、計算可能性、回路計算量、通信計算量等

・理論計算機科学の周辺分野

暗号理論、量子計算、計算論的学習理論等

上記以外でも、理論計算機科学の研究分野に寄与するものであれば広く歓迎します。

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の英文論文と同一とします。

・ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。

・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

・Webによる電子投稿のみ受け付けます。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。

初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-FC] Foundations of Computer Science を選択して下さい。 [Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

・Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2020年3月27日（金）厳守

5. 問合せ先

中村篤祥 北海道大学情報科学研究院

TEL [011] 706-6806, FAX [011] 706-7832

E-mail: atsu@ist.hokudai.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 中村篤祥（北大）

副委員長 亀井清華（広島大）、畑埜晃平（九大）

委員 安藤 映（専修大）、伊藤健洋（東北大）、内澤 啓（山形大）、大下福仁（奈良先端大）、河内亮周（三重大）、喜田拓也（北大）、清見 礼（横浜市立大）、塩浦昭義（東工大）、全 眞嬉（東北大）、戸田貴久（電通大）、藤芳明生（茨城大）、藤原洋志（信州大）、森 立平（東工大）、山本真基（成蹊大）

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含むすべての著者は、論文が採録となった場合、2020年11月頃に掲載料をお支払い頂くことになりま

す。2020年12月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。

- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <https://www.ieice.org/jpn/join/index.html>
- * オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には、電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。（オープン化は、2020年1月以降も継続する予定です。）オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。